



「集団的自衛権」行使に明確に「反対」と言わず

安倍内閣は、憲法解釈の変更による「集団的自衛権」の行使を狙っています。

「集団的自衛権」とは

ある国が武力攻撃を受けた場合に、これと密接な関係にある他の国が共同して防衛にあたる国際上の権利

とされていますが、これはアメリカが国連に持ち込んだ概念で、国際紛争の解決に武力を用いないという国連憲章に背くものです。

これまで「集団的自衛権」を行使した戦争は、アメリカによるベトナム戦争や旧ソ連によるアフガニスタン戦争など、大国が侵略や軍事介入する際に、武力行使を可能とする口実に使われてきたもので、自国が攻撃されて行使した例は一度もありません。

「集団的自衛権」は、憲法を踏みにじり、歴代政府の見解を



むものです。

私は一般質問で「過去の侵略戦争を反省しない政府が『集団的自衛権』の行使を容認すればアジアと世界の反発は必至で、『平和の祭典』であるオリンピックにも大きな影響を与える。安倍政権の危険な企てをやめさせるべきではないか」と区長の見解を求めました。

区長は「国の責任のもとで検討されるべき」と人ごとのような答弁でした。

私は「オリンピックを通じ打て世界に平和を発信する」と答えた区長なら「集団的自衛権」の行使は認めないと声を上げるべきだ、と批判しました。

中央区地域活動支援センター

「ポケット中央」が保健所内にオープン

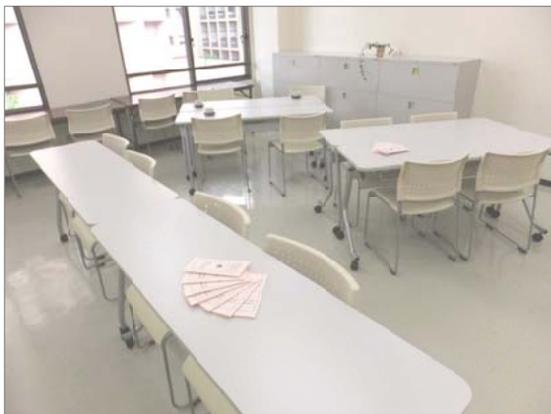
10月1日、中央区精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」が、保健所の5階にオープンしました。

「ポケット中央」は、心の病気を抱えている方や精神科に通院している方、心の不調を感じ



みんなとくつろぐ交流室

ている方、ご家族に心の病気がある方などの生活支援や相談にのるセンターで、生活プログラム、芸術プログラム、そして、保健所の体育館などを利用しての運動プログラムが用意された居場所になっています。



映画鑑賞などを楽しむ部屋

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03)6600-6600